

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔産婦人科（婦人科）〕

指標名

① ロボット手術件数、② 新規悪性腫瘍治療数

目標・ゴール

現状件数の維持ないし増加

目標・ゴール達成による効果

技術の取得、若手医師のリクルート

目標・ゴールに対する成果の状況

2023 年 ロボット手術件数 71 件、新規悪性腫瘍治療数 125 件

2024 年 ロボット手術件数 90 件、新規悪性腫瘍治療数 129 件

図1 ロボット手術件数の推移

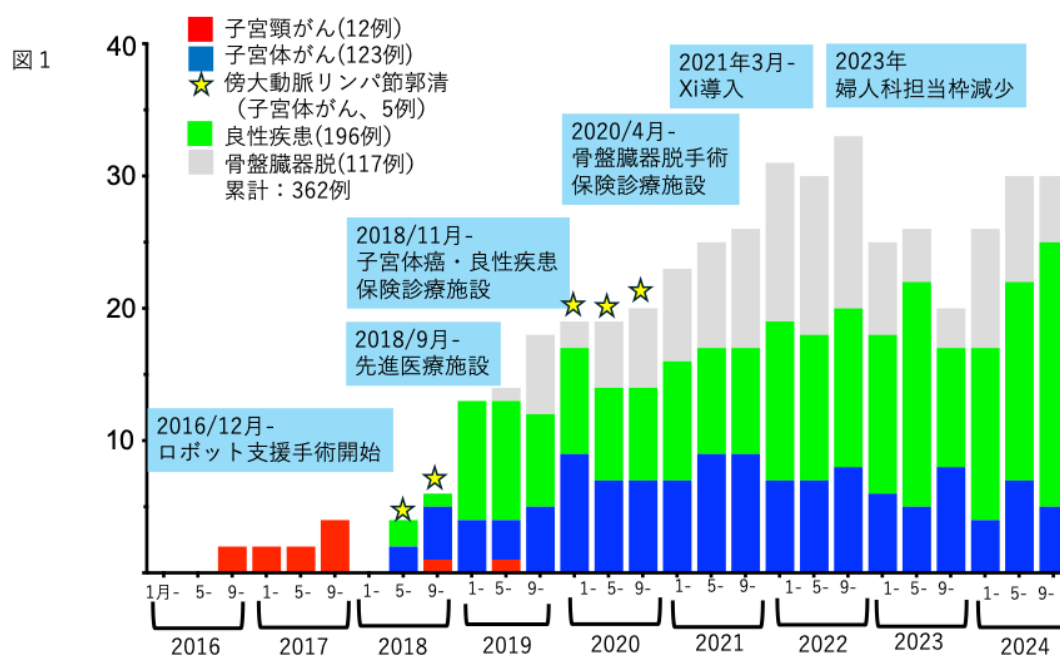
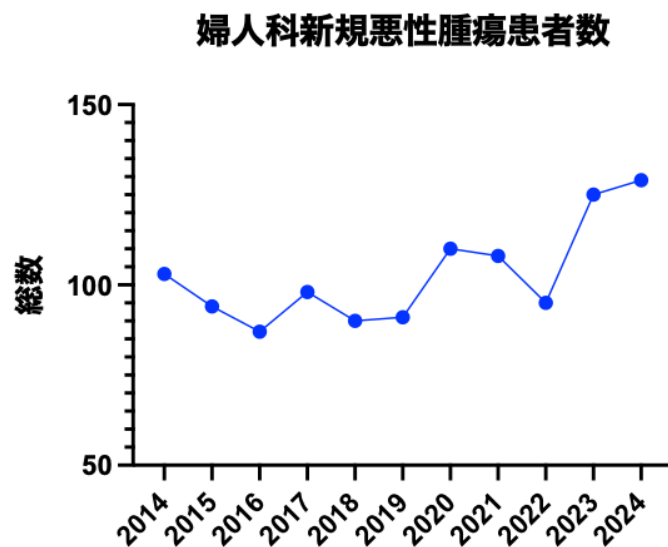


図2 婦人科悪性腫瘍治療数の推移



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

☐S :大幅に目標を上回った

☐A⁺:目標を多少上回って達成

☐A :目標を達成

☐B⁺:目標を少し下回った

☐B :目標を下回った

☐C :目標を大幅に下回った

☐- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

1. 2024 年度は婦人科スタッフの努力により、2023 年度よりロボット手術全体の手術件数が増加した。また、術者・助手の資格取得に尽力しロボット手術に関わる医師の裾野を広げている。Da Vinci の術者 1 名、専攻医 5 名も助手の certificate を習得した。da Vinci 術者/助手資格を有する医師を対象に hinotori についても現在資格取得を進めている。しかし、土曜のロボット手術枠を埋めるために、ロボット手術を行える医師に大きな負担をかけているのが現状である。前述の通り、術者・助手を増やして対応を目指しているが、土曜の枠を他科の先生にもご担当いただき、ロボット手術の平日枠を活用させていただきたく思う。また、ロボット手術を縦列で予定する際に手術間の待機時間が長く、それが手術件数の足枷になっていることもあるので、今後ご考慮いただけたらと思う。
2. 2024 年には一昨年以上の新規悪性腫瘍患者の治療を行っていた。数字には出てこないが、転移性腫瘍や全身状態が不良で治療に至らない悪性腫瘍患者についても積極的に受け入れてきた。また、婦人科腫瘍専門医数 7 名、また婦人科腫瘍修練医も現在 4 名在籍しており、婦人科腫瘍を専門とする医師も徐々に増えつつある。今後も安全に留意しながら治療患者症例数を増やしてゆきたいと考えている。また、前述の通り原発部位が婦人科臓器ともわからないのにも関わらず、転院先の調整や他科へのコンサルトで日数も人手も取られていることがままある。引き続き地域連携部門や病院全体として御援助いただきたく思う。